

佐久間万夫著「人生、価値ある挑戦—ミドルエイジ起業の成功法則—」高木書房、2025年10月27日刊を読む

はじめに

50歳で起業すれば20年以上は現役で走り続けられるでしょう。その経験、知恵、情熱。それらを次の世代につなげ、社会に還元していく……それこそがミドルエイジ起業の醍醐味です。

もちろん、決して簡単な道ではありません。ですが、それでも挑む価値があります。会社を守られる人生から、自らの足で立つ人生へ。起業には特別な才能も学歴もありません。必要なのは「やると決める勇気」だけです。

○「若者の起業成功率は30%、高齢者の成功率は70%以上だ」

○50代からの起業は遅くない！

- ・定年前に起業する「ミドルエイジ起業」のすすめ
- ・「ミドルエイジ起業」は楽な道ではない
- ・40代で「会社員のゴール」がリアルに見えてくる
- ・起業は「55歳まで」がベスト
- ・「ミドルエイジ」の起業成功率は若者より高い
- ・世のため、人のためにモチベーションを高める
- ・起業することで「人として生まれてきた意味」を知る

○積み重ねた人生の中に「強み」がある

- ・「会社員時代の経験」は起業の基盤
- ・定年前起業のメリットとデメリットを考える
- ・人に使われる人生か？人を使う人生か？
- ・これまで働いてきた「貯金」と「創業融資」を使う
- ・ビジネスマン時代の知識と人脈が最強の武器となる
- ・「リスクリング」が起業につながることも
- ・「令和の社長5原則」とは？

○「人のやらないこと」は最強のビジネスチャンス

- ・起業とは「社会の見えない痛み」に立ち向かうこと
- ・ビジネスの黄金の種は「3F」に眠っている
- ・起業は「目的」が9割
- ・世の中にない「独自性」のあるサービスを見つけよう
- ・「人のやらんことをやれ」本田宗一郎の名言に学ぶ
- ・会社を軌道に乗せるには「4年」は必要

- ・「狙い目ビジネス」はこんなにある

#### ○最初の一步を踏み出せない人へ

- ・持病を抱えている人は「思わぬ落とし穴」に注意
- ・「自宅を担保」にして起業してはいけない
- ・会社と「喧嘩別れ」してはいけない
- ・「在庫を抱えるビジネス」を始めてはいけない
- ・両親や友人に猛反対されたらどうする？
- ・「起業のパートナー」は「配偶者」と同じくらい重要
- ・ミドルエイジ起業は身近な人の協力が不可欠

#### ○事業を通じて人を助け、人を救う

- ・堅調は「1桁」、順調は「2桁」、絶好調は「3桁」の伸び
- ・「運の良さ」とは「人の良さ」かもしれない
- ・社会貢献できるビジネスは次世代まで生き残る
- ・中高年が起業することは日本への貢献
- ・あなたの才能を会社の中で埋もれさせないで
- ・中高年も「やりたいこと」を諦めなくていい
- ・社会貢献型の起業で日本を救おう
- ・折れない心…ミドルエイジ起業に効く「認知行動療法」
- ・「人生に期待されていること」を見つけよう

#### ○ミドルエイジ起業の成功法則 まとめ

#### ○大事にしている言葉

#### ○愛読書